

学 校 便 り

滑川市立西部小学校 R2. 11. 25

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花 楽しくあいさつができる子
ほかほか花 「あったか言葉」をつかう子
きらりん花 きらきらと自分らしく輝く子

新しい学校のかたち

11月7日に本校では学習発表会を行うことができました。今年度の学習発表会は新型コロナウイルス感染防止のため、1学年ずつ児童も保護者も入れ替えての発表会となりました。保護者の皆様には、体育館入口から整然と列をつくって待機していただいたり、兄弟の参観ため一度体育館を退出して再び入場していただいたりと、ご迷惑をおかけいたしました。子供たちはマウスシールドを身に付けてステージサイドまで広がって堂々と演技していました。残念ながら感染予防対策のために、地域の方や子供たちも全ての学年の演技を見ることはできませんでしたが、来年こそはコロナ禍がおさまって誰もがすべての発表を楽しめることを願っています。

子供たちの学習発表会を毎年楽しく見せてもらっていますが、自分が小学生の時の学習発表会で、唯一はっきりした記憶があるのは、母校の小学校でちょうど100周年の記念行事があった5年生の時です。

「小学校の100年の歩み」という内容で、私は戦時中の兵隊さんの格好をして発表をしました。家から父親が身に付けていたゲートル（足のすねを巻く包帯のようなもの）を探し出し、戦争に行かれた担任の先生からゲートルの巻き方を教わったことが懐かしく思い出されました。

その母校である水橋中部小学校も水橋地区の少子化の波に吞まれ、統合されようとしております。富山市水橋地区には現在5つの小学校と2つの中学校がありますが、7つの小中学校を統合し、新しく義務教育学校に生まれ変わる計画が、この夏一気に加速し始めました。富山市では、水橋地区の義務教育学校をモデル校として、今後市内いろいろな地区で義務教育学校を建設する構想があるようです。義務教育学校とは、従来の「6・3」制の学年区分の変更や、中学校の学習を小学校段階で先取りするといった柔軟なカリキュラム編成が可能になります。小中両校で構成する小中一貫教育と異なり、校長は1人。中学進学時に不安を抱える「中一ギャップ」の解消も期待できると言われています。学校の統合の実態を県内全体に目を向けますと、平成14年度から平成27年度まで、県内で閉校になった小中高等学校は68校（それでも全国で42番目）もありました。隣の魚津市では、平成28年度より小学校の統合が次々に進み、12校から5校になっています。黒部市内でも、今年これまでの4つ中学校が2つの中学校に統合され、新しく生まれ変わっています。時代の波とはいえ、地域から学校がなくなっていくことは寂しい限りです。

先日案内させていただきましたが、同じ市内の東加積小学校が小規模特認校制度によ

り、次年度から通学区域に関係なく市内のどこからでも東加積小学校への就学が認められることになりました。その一方で西部小学校区では宅地造成が拡大しており、当分の間児童数の増加が見込まれています。児童数が減少していく学校が多い中、学校に活気があるのは、ありがたいことです。2024年に予定されている150周年事業もきっと盛大に行われることでしょう。これからも地域の方々と

子供たちが交流するなど、地域のコミュニティの中心としての役割を果たすことができるよう取組を進めていきたいと思ひます。



(教頭 角川 誠)

きらりん花を咲かせた学習発表会

<p>1年生 国語 ことばをたのしもう！</p>	<p>2年生 生活・音楽 ぼくらはみんな生きている</p>	<p>3年生 体育・音楽 三年とうげ</p>
		
<p>4年生 総合 これからの地球のために！ ～自分たちにできること～</p>	<p>5年生 総合 見つけよう！調べよう！伝えよう！ ここがOO！キラリン滑川 ☆namerikawa☆</p>	<p>6年生 英語 Urashima Taro ～We all live together～</p>
		

これまで学習したことを基に、各学年で練習を積み重ね、当日は堂々と発表することができました。保護者の皆様、温かい拍手、本当にありがとうございました。